

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～

発行日：令和2年7月3日

## コロナ禍 × 商工会議所青年部

2020.6.29 @袋井新産業会館「キラット」



### コロナショックから 地域経済を回復させるための意見交換会（風会議）



#### （建設業）

今はコロナ前に受注した案件に対応しており、売上はそこまで減少していないため、持続化給付金の給付対象外となる事業者が多く、遅れて景気低迷の影響が出てくる業界。

#### （建材卸業）

住宅メーカーへの卸しが減少している。業界としては、公共事業の発注の遅延や目減りが生じないか懸念している。

#### （清掃業）

コロナの影響はあまり受けていない。飲食店等の業務は減少したが、一般家庭のエアコンの清掃や抗菌処理などの特需もある。

#### （製造業）

グローバルサプライチェーン停滞の影響を直に受け、生産調整が続いている。首都圏への営業にも行けない状態が続いており、受注残の処理を行っている。

現状、あまり国の支援策等を活用できていない。売上の減少率などの要件を満たさない（ハードルが高い）、どんなことに使えるのか支援内容がよく理解できていないなど情報不足が理由。

病院や介護施設をはじめ、Withコロナにおける新たなニーズ「こんなものが欲しい」といった声を聞く機会があれば新たな商品の開発につながる。

#### （飲食業）

今後、大規模な宴会の再開は見込めない。例えば、オープンテラスの設置など「新たな生活様式」を意識し、afterコロナの社会の需要等を見据えたビジネスモデルへの転換や投資が求められる。

#### （代行業）

飲食店等の休業要請を受け需要が蒸発し、休業状態であったが協力金の対象外だった。休業要請がもたらす影響（産業連関）などを見据えた支援対象の設定を期待したい。今後は、小売りなど他の業態と連携した新たなビジネスモデルの創出も大切になっていくと思う。

一般住宅の耐震補強や高齢者の転倒防止、リフォームなど住宅の長寿命化や空き家対策など従来の施策と連動させた住宅リフォームの助成金などの強化は景気刺激策として有効で、地域全体に効果が現れると思う。

企業間取引の促進に向けたマッチング、支援策の活用に係る助言や情報提供の強化のほか、新しい生活様式を取り入れた新ビジネス形態の創出に向けた支援などを行政に期待したい。

みんなで知恵を出し合い  
コロナ禍を乗り越え  
元気な地域をつくる！



袋井商工会議所青年部会長 加藤雅史